

令和5年度(2023年度)長和町立長門小学校グランドデザイン

児童の実態

< 良さ >

- 素直さ。質朴さ。
- 異学年・男女の仲の良さ。
- 言われたことを真面目に取り組むこと。

< 課題 >

- 受け身的で主体性にかけること。

学校教育目標

人を尊重し、
自主的で気力に満ちた児童・学校

- つ よ く
- か し こ く
- あ た た か く

学校を取り巻く環境

○自然環境・人的環境・文化的環境に恵まれている。

学校に協力的な気風がある。

地域の願い

長和町教育大綱より
○心身ともに健やかで、人やもの、自然や命などを大切にする子ども。

○学ぶことを楽しめる子ども

児童の願い

児童会目標から
○学校生活をよりよくするのは自分達だ!

< スローガン >

「友達の意見を大切に、
みんな にこにこ 長門小」

《 スローガン 》

子どもたちの“素直さ”を伸ばし“主体性”を高める

《 目指す子どもの姿 》

「つ よ く」・・・大人の判断に依らず自分の意志・判断で行動する姿（それに通ずる姿）

「か し こ く」・・・自ら『問い』をもって追究する姿（主体的に学ぶ姿）

※『問い』=追究するに値する「願い」や「疑問」

「あ た た か く」・・・心の正しさをもって友だちや地域の方々と仲良くかかわり合う姿

活動を常にスローガンと照らして見返し、行い方を更新しながら目指す子どもの姿に迫っていく

《 重点的な取り組み 》

(教職員の姿勢)

つ よ く

☆ 大人の判断に依らず自分の意志・判断で行動する姿を支える ☆

◎ 行事・学級活動・児童会活動・クラブ活動を中心に、教職員のお膳立てを極力減らし、子どもたちの『問い』を大切にしながら子どもたちの考えて活動が進められていけるように支援をする。

- ◆運動会の 6月実施
- ◆音楽会の10月実施
- ◆学年ごとの計画による遠足(1~4年)
- ◆高原学習・修学旅行の2学期実施
- ◆学級会活動の充実
- ◆6年生をリーダーとした児童会活動
- ◆児童・職員の希望に基づくクラブ活動

か し こ く

☆ 自ら『問い』をもって追究する姿を支える ☆

◎ 子どもの『問い』を大切に学習を創造する。

◎ ICTを最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指す。

- ◆算数高学年部会・算数低学年部会による授業研究の実施
- ◆一人一公開授業による学び合い

<大切にしたいこと>

◇子どもの『問い』をもとにした学習問題の設定

◇追究の見通しから自分の課題を明確にできる場の設定

◇追究の時間の保障と個々のつまずきに応じた支援…ICT機器の利活用

◇追究結果を交流する場を設け
学習問題と照らしてまとめること

◇自分や友だちの高まりを認め合う、全体評価の場の設定

あ た た か く

☆ 心の正しさをもって友だちや地域の方々と仲良くかかわり合う姿を支える ☆

◎ 学級活動(学級経営)・なかよし班活動・児童会活動を中心に、子どもたち同士が豊かにかかわり合う場を数多く設定する。

- ◆年間を通した「なかよし班活動」の実施
- ◆「なかよし班」「兄弟学級」を活かした児童会活動
- ◆和田小・武石小との交流
- ◆ながと保育園(ひまわり組)との交流
- ◆紫苑祭への参加(6年)
- ◆南中職員による出前授業
- ◆クリーン少年団(6年)・みどりの少年団(5年)への参加
- ◆多様な視点から子どもをサポートしていただく「お助け隊・見守り隊」と連携した活動の設定・場の確保(地域学習・学習支援)
- ◆毎月の「なかよしアンケート」の実施



< 依田窪南部地域4小中学校の連携 >

☆ 「中学校への円滑な進学と進学後の充実した生活」「アントレプレナーシップの涵養」を目指した、
小中一貫教育連携型を意識した4校連携の取り組み ☆

- ◆3小学校の交流活動
- ◆小中の交流活動
- ◆「ふるさと学習」の実施
- ◆南部支会人権教育全体計画に基づいた人権教育
- ◆つきたい力を共有したICT教育
- ◆授業観を共有しての授業研究・学力向上に向けた取り組み